

## ワーク・ライフ・バランスを推進するための働き方・休み方の見直し「働き方改革」局長トップ対談 琉球銀行 川上 康 頭取

### 働き方改革に取り組む意義について

当行では「すべての職員が活躍する銀行を目指し、多様な人材がモチベーション高く働く」ため、様々な働き方改革に取り組んでいます。

2019年度よりFTBタブレットシステムを全店導入開始し、紙（伝票）を中心とした銀行業務から、タブレットを活用する業務スタイルへ変革しています。顧客の記入負担軽減や待ち時間短縮によるサービス向上を実現し、職員の働き方にも変化をもたらしています。2020年度は業務効率化プロジェクト「SINKA 断捨離2020」を立ち上げ、営業店事務のムリ・ムダ・ムラの改善を図る取り組みを実施し、ひとり一人の時間管理意識の向上を図るとともに、業務効率化にも力を入れています。

働き方改革の取り組みは、職場への貢献意欲やモチベーション向上、ビジネスのイノベーションを育み、ひいては地域貢献、地域経済活性化、顧客へのサービス提供につながると考えています。



【写真】右側 福味沖縄労働局長  
左側奥より 川上頭取、菊地人事部長

### 時間外労働の削減について

所定外労働の削減においては、2016年に「7時だヨ全員退行！」をスローガンとして、最終退行時間を19時とする取り組みをスタートさせました。2018年7月には沖縄市に定員4名程度の「コザサテライトオフィス」を設置し、本店に勤務している中部地区在住の職員が営業先から本店に戻らずに同オフィスで報告書を作成したり、次の取引先訪問までの待機時間を利用して資料を作成するなど、時間の有効活用に取り組んでいます。2021年3月には、那覇市にも同オフィスを設置し取り組みの拡大を行っています。

また仮本店に勤務する本部職員は、19時以降の時間外労働が必要な場合、上司の指示のもとで時間外執務室へ移動し業務を行うこととしており、時間外勤務中である意識を高めることで縮減に努めています。

### 働き方改革の様々な取組について

仮本店ビル内の6階フロアでは、座席を固定せず、各業務に応じて最適な環境を職員自身が選択できる「フリーアドレス制」を導入しています。「集中ブース」、「少人数ミーティングブース」の設置や、執務室中央に各部署の管理職の座席を隣接して配置することにより、職員間のコミュニケーション促進や部署間の連携活性化の仕組みを構築しています。

「価値観の共有化が働き甲斐につながる」という考えのもと、全職員へ貸与しているスマートフォンを活用し、社内SNSで営業店長会議の内容をリアルタイムで動画配信するなど様々な情報発信により、情報の共有化を行っています。全職員に貸与しているスマートフォンは、在宅勤務時の情報共有や、約800本の研修動画視聴にも使用しており、人材育成の面でも活用しています。



## 女性の活躍推進（女性管理職の増加）

2020年12月末現在、当行の女性管理職者数は133名、割合は23.4%と産業平均13.1%を上回っています。2017年3月末時点では71名であった女性管理職者数は、この3年半で62名増加、割合は16.4%から23.4%と7.0ポイント増加しました。

女性管理職者の増加に向けて人材育成に力を入れるとともに、2018年4月に産休や育児休業等の休職期間が昇格へ影響しない制度へ変更しました。育成に加えて制度変更を実施し、能力ある職員がライフイベントに関わらず活躍できる環境を整備しています。また、2019年4月にはキャリアの上限に制限のある一般職を廃止し、全職員が経営層までチャレンジできる環境を構築しました。

2021年4月現在、女性の社外取締役1名、社外監査役1名、部長2名、支店長クラス15名（副参事以上）と経営層を担う女性職員も増加し、若い職員にとって良いキャリア形成のロールモデルになっています。男女が共に成長し合い、多様な職員が活躍できる環境づくりとして、今後も女性活躍に積極的に取り組めます。



	女性の管理職者数	女性の管理職比率
2017年3月	71名	16.4%
2020年12月	133名	23.4%

## 非正規雇用者の処遇改善

当行では、パートタイム労働者を嘱託、正職員へ登用する「上位職登用制度」を設け、チャレンジできる機会を年1回から年2回へ広げるなど、積極的に推進しています。正職員登用時には新任者の等級にて職位がスタートしますが、パートタイム労働者時代に培った経験値を活かした能力発揮や仕事の成果、意欲等を考慮し、通常よりも昇格するスピードが速くなる「飛び級制度」を導入することで、正職員登用をゴールにすることなく、更なるキャリアアップに向けたモチベーションの維持を図っています。

## 沖縄労働局長より

働き方を改革するため、フリーアドレス制の導入やスマートフォンの貸与などハード面での改革、女性の管理職登用や非正規雇用者の正職員登用などソフト面での改革とともに、快適な職場を目指すという価値観の労使間での共有を図っておられ、頭取のリーダーシップの下で大胆な組織改革を行っているのが手に取るように分かりました。新型コロナウイルス感染症禍で厳しくなっている県内企業を支え、ともにポスト・コロナを目指して進んでいこうという姿勢は頼もしく感じられました。

### <企業概要>

名称：銀行業、所在地：那覇市  
労働者数（臨時職含む）：1,828名（2021年3月現在）

